

1789. 7. 14.
フランス革命
はじまる

パ リ 祭 の こ と

記事内容はわたし個人の見解であり、すべての方への有効性は保証できません。

ご意見などの宛先 horikawassw@gmail.com



ヨーロッパ人はそれまで千年以上、黙って**お上**^{おかみ}(権威)に従っていました。生きることが苦しくなった農民、市民はある時から**不平等**な仕組みが原因だと気づきます。

☆ 1

人々は三百年ほど前まで「神様（教会）に従う生き方」をしていました。でも科学の発展は、世界が神の意志（教会の教え）ではなく、自然の法則によって動いていることに気づかせるのです。

そして印刷術の普及は人々に、一握りの**読み書きができる人** = 教会や貴族が長い間にキリスト教の『聖書』にない事をさせ続け、自分たちに利益を生む仕組みを作り上げているのに気づかせたのです。

そこで再び「無知」が原因で利用されないように、さらにさまざまな知識や考えが出版され、現代に至るのです

★ 2

この流れを受けて「考える」市民が増加し、ついには特権を持つ者たちとの戦い、**フランス革命**につながり、その動きはさらに**植民地という同様の仕組み**に反対したアメリカ独立戦争を起こしたのでした。

☆ 3

おとなはあくまでも子どもの将来のために考え、「**正しい判断力**」を持てるように必要な知識と技術を教えます。間違った行動をしないように注意・指導をしています。それは支配とはまったく別のものです。

しかし、中世の教会や貴族もまた、人々の暮らしを良くするため、守るために考えていました。

ところが自分が持っている力を、自分の利益を増やすために用いる人が現れたのです。

★ 4

スマホやPCを用いた詐欺をはたらく人も同じ種類の人かもしれません。

どのような知識や技術も、それを使う人が誤った考えを持って使うと社会に大きな害を与えてしまうのです。

子どもを導くおとなも、いつの間にか誤った考え方をしているかもしれません。

「無知」が原因で子どもを害しないように、おとなこそ学んで欲しいものです。

